

真澄会報

発行所
横浜市西区岡野1-5-8
神奈川県立
横浜平沼高等学校
同窓会 真澄会
発行責任者 鈴木宏司
印刷 (株) サラト

真澄会ホームページ
http://www.masumikai.org

同窓会は皆様の会費で運営しています。会費納入にご協力ください。

年会費2,000円に 総会で値上げ承認



昨年度の会報において真澄会の財政状況について述べたが、今年度の評議員会、総会で年会費を1,000円から2,000円へ値上げする案が承認されました。これもひとえに皆様方のご理解と協力の賜物と厚く御礼申し上げます。

終身適用70歳から 今回配布

平成27年度真澄会総会が5月17日(日) 母校小ホールで開催され、年会費を現行の千円から2千円に値上げする事が承認された。終身年齢適用も65歳から70歳に引き上げとなる。大幅な会則改正を周知するため、今回総会には約50人が出席。鈴木会長は、「小野校長のもと、母校との良好な関係を築けている。母校に代わって、母会としての責任を全うする。母会としての責任を全うする。母会としての責任を全うする。」と述べた。



平成27年度真澄会総会が5月17日(日) 母校小ホールで開催され、年会費を現行の千円から2千円に値上げする事が承認された。

今回配布 全員配布

少への対応、まなびや基金による体育館施設修繕などについて話され、最後に篠田新頭が紹介された。議長として平井洋子理事(71期)が選出され審議に入った。

経費削減も限界

財務検討委員会

真澄会会則第6条第1項(2) 年会費2,000円(1,000円)、第3項終身会費適用年齢を70歳(65歳)に達する年からとする。平成27年5月17日改正(かつて内は旧条文)

4月19日評議員会にて、第4号議案(会則6条・会費に関する条文の改正案と会報配布にかかる修正動議が承認された。小野校長からは真澄会による先輩セミナーや校史教育等日頃の協力への謝辞、男子生徒減

財政基盤の確立に向けて

会長 鈴木宏司(59期)



から「一般積立金(現在のますみ基金)からの繰り入れを続けるのは如何なるのか。これ以上真澄会の財産を減らさないように対応する」と述べた。その結果、会費値上げをある程度念頭に置いて財務検討委員会(会長、3副会長、3委員長の7人で構成)を25年度に立ち上げた。その結果、会費値上げをある程度念頭に置いて財務検討委員会(会長、3副会長、3委員長の7人で構成)を25年度に立ち上げた。

に關する第4号議案会則改正が賛成多数で承認された。(詳細は財務検討委員会の報告をごらん下さい)



総会に先立ち、恩師渡邊榮一先生による「新制平沼高校男女共学の揺籃期」の講演があった。ご持参の当時の教員集合拡大写真を懐かしそうに見入る人が多かった。

会費値上げ増収策を図る一方で会報全員配布を3年に一度にするのはいかげなものか、等があった。最後に、会長から野村脩顧問(50期)退任の報告があり、労をねぎらった。

元気がいっぱいボーカルユニット「COCO」で会場を横浜国際ホテルに移して懇親会が開催された。新入会員(112期生)16名、来賓を含めて82名が出席、和やかに懇談やアトラクションを楽しんだ。今年小林陽子さん(79期)のひきいるボーカルユニットが出演、歌いながらのパフォーマンス



スに112期生が加わり会場は盛り上がった。最後に出席者全員が肩を組み、手をつなぎ、輪になって校歌を斉唱、112期生の若々しいエールで閉会となった。

から募った広告を掲載、収入増を図ることとした。評議員会での修正動議 評議員会では、活発な議論が交わされ、値上げは止むなしとしても、会則改正の結果を全会員に周知する必要がある。前年度の決定を覆してでも、会報の全員配布が望ましいとの修正動議が提出され、多くの賛成を得た。

会費納入及び広告掲載への協力。会員からは「値上げはやむなし、経費削減の努力を加え、事業の縮小にならぬような運営をして欲しい。」との暖かい意見もいただいている。会費納入率向上とそれに加えて広告掲載についてもご協力をよろしくお願いしたい。会員の皆様に負担増をお願いすることにはなるが、今後とも皆様のご理解を得る努力を重ねて行き、一層のご支援とご協力を賜りたい。

税の予定) ②会費納入率の低減による資産の減少(平成26年度の資産増は、一時的現象) ③エアコン等、真澄会室備品機器類の経年劣化による修繕費増 ④充実した同窓会活動継続のための資金確保(母校支援、歴史資料室、周年事業等への基金の充実) その結果、「会費値上げをせざるを得ない」の結論に達した。なお、57号から、役員

退任役員 顧問 野村 脩(50期) 地代所達也(59期)

5年間を振り返って 今年度で任期満了となりました。会長として会報にご挨拶申し上げるのは最後になりますので、一言述べさせていただきます。真澄会会則に会費の目的として「本会は、会員相互の親睦を図り、母校の発展に寄与し、併せて社会の福祉に貢献することを目的とする」とあります。私は前職が教員だったせいか、知らず知らずの内にこの目的の2番目、学校との関係

に力点を置いて来たように思います。特に、同窓の校長が来られてからは一層その感を強くします。学校と同窓会の関係が大変スムーズに運ばれている現状を鑑みるに付け、小野校長(71期)のご配慮に厚く御礼申し上げます。一方、1番目と3番目、特に1番目の「会員相互の親睦について」は、やや疎かになったのではと反省しております。結果的に次期会長へ課題先送りの形

平成28年度 総会・懇親会ご案内 会日 平成28年5月15日(日) 13時より 会場 母校小ホール 場所 横浜国際ホテル 時間 16時より 会費 5,000円(当日集めます) 申込み 参加希望者は必ず事前に申込の上、総会にもご出席下さい。 〒220-0073 横浜市西区岡野1-5-8 横浜平沼高校内 真澄会 TEL 045-331-1335 FAX 共用 (火曜日10時~15時のみ入室) 事務局メールアドレスは8面

朝、家人より早めに起き、簡単な朝食を摂りながら新聞を読むのは長年の習慣であり至福のひとつである。 かく新聞好きの私が、「真澄会報」に携わることになったのは、何かの縁と想っている。 勿論読むと作るのでは大違い。スペース配分を誤り、寄稿文を大幅に削除したり、氏名の漢字を間違えたりと、会員に不快な思いをさせたことも多々ある。 毎年、3月頃の企画から始まって6月、7月と広報委員は原稿集めと編集のために熱く燃える。文章をいかに読みやすく伝えるか、助詞の使い方ひとつでも侃侃諤諤となる。8月初旬に印刷業者に最終校正を渡すまで息を抜けない。 52号と53号が記憶に残る。52号は110周年記念事業の一つ「特集号」中折のカラー頁4・5面を使い当時の広報委員長の井嶋清吉さん(通9)による斬新なレイアウトが目をつけた。53号は東日本大震災の様子を伝えた。また、110周年記念コンサートに関わった方々の協力により、全出演者の顔写真をカラー頁で掲載した。

現在の新聞形式で発行されたのは昭和38年からで会報の歴史は山口精一顧問(52期)が書かれた「真澄会報戦後略史(昭和29年)」に詳しく書かれている。 57号は広告掲載、頁数を増やすなど、新たなスタートでもある。諸先輩の努力を引き継ぎ、この会報が真澄会員の絆の要であり続けることを願っている。 副会長 松永 弘子(57期)

評議員会 報告

平成27年4月19日(日) 定例評議員会が母校小ホールにて開催され、議長に豊田哲志さん(75期)を選出、次の議案について審議が行なわれました。第1号議案・第2号議案・第3号議案第4号議案について...

出席者数 57名
内訳・評議員 35名
理事・監事 22名
事務局員 22名

平成27年度予算案
平成27年度の新入生は合計277名で、男子78名、女子199名、新入生の男子が少くない。財政状況が問題。...

平成26年度
4月20日(日)
平成26年度評議員会開催
会場 母校小ホール
出席者 56名

野崎敦子さん(40期)のミニコンサート
5月23日(金)
母校「体育祭」応援合戦審査員
7月5日(土)6日(日)
母校「平沼祭」に歴史資料展示室開室
9月1日
真澄会報56号発行
22,400部

平成27年度 事業計画案

平成27年度評議員会
会場 母校小ホール
平成27年度総会
会場 母校小ホール
総会終了後懇親会
会場 横浜国際ホテル

活動縮小は良くない。
真澄会報を全員配布に修正したため会報発行費を増額および特別会計(会報発行費積立等)への繰出しを廃止

定例評議員会の開催と各種委員会の随時開催
卒業生および成人式を迎える(期)の同期会に祝い金を贈呈

真澄会則改正
第6条第1項(2)と第3項を改正し会費年額2,000円、終身会費適年齢を70歳に達する年度とする。

卒業生に記念品贈呈(校歌・応援歌のCD)
卒業生に記念品贈呈(校歌・応援歌のCD)
卒業生に記念品贈呈(校歌・応援歌のCD)

真澄会 決算書 平成26年度

(自)平成26年4月1日 (至)平成27年3月31日 単位:円

Table with 4 columns: 費目, 26年度予算, 26年度決算, 決算-予算. Rows include 前線繰越金, 入会金, 年会費, etc.

真澄会 予算 平成27年度

(自)平成26年4月1日 (至)平成27年3月31日 単位:円

Table with 4 columns: 費目, 27年度予算, 26年度決算, 予算-決算. Rows include 前線繰越金, 入会金, 年会費, etc.

真澄会 決算書 平成27年度

(自)平成26年4月1日 (至)平成27年3月31日 単位:円

Table with 4 columns: 費目, 27年度予算, 26年度決算, 予算-決算. Rows include 前線繰越金, 入会金, 年会費, etc.

真澄会 予算 平成26年度

(自)平成26年4月1日 (至)平成27年3月31日 単位:円

Table with 4 columns: 費目, 26年度予算, 26年度決算, 予算-決算. Rows include 前線繰越金, 入会金, 年会費, etc.

新会員

112期生の次の方が評議員に選出されました。
○西田 奈央(代表)
八木 希
齋藤 莉雄
有園 祐也



新会員

終身会費納入者

- List of members with their names and membership numbers. Includes names like 平谷 扶美子, 新山 裕子, etc.

目的別積立明細書

自平成26年4月1日 至平成27年3月31日 単位:円

Table with 5 columns: 内訳, 前期繰越金, 当期増加, 当期取崩, 次期繰越金. Rows include 終身会費積立金, 母校後援積立金, etc.

寄付金

(平成26年8月~27年7月)

- List of donors and amounts. Includes names like 山形(大島) まや, 吉野 啓次, etc.

広告掲載のご支援をお願いします
1コマは横69mm 縦40mmの長方形で¥5,000です。

Advertisement for 弁護士 庄司道弘 (62期). Includes contact info for 事務所: 横浜市中区南仲通1丁目6番 関内NSビル2階.

Map showing the location of the law office near JR Minami-Kanagawa Station.

Advertisement for 株式会社 野地商店. Includes contact info for 横浜市西区花咲町4丁目107番地.

学校だより

心から感謝

校長 小野 力



真澄会の皆様には、日頃から母校の生徒並びに学校教育活動全体に對して、ご支援とご協力を賜り、在校生並びに保護者、教職員一同、心から感謝申し上げます。

さて、母校では、3月3日に112期生275名が卒業し、4月7日に115期生277名が希望を胸に入學してまいりました。

現在、男子225名、女子607名、合計832名となっております。男子が3割を下回ってしまいました。元氣な男子が各種行事を引っ張っています。

4月は健康診断が行われたり、新1年生は真澄会委員の方から校史教育の講義を受けました。

部活動では女子ハンドボール部が3月に愛知県で開催されました。全国選抜大会に2年ぶりに出場しました。

今年度は4年連続で関東大会出場を決めるなど安定した活動状況です。また、陸上部、女子バスケット部やバドミントン部などが県大会に出場する頑張りをしています。

ダンス部・演劇部・かるた部などの文化部も活発に活動しています。5月22日(金)快晴の中「第14回体育祭」を実施しました。

今年度は昨年に続き、応援賞・総合優勝を夏組が獲得しました。7月4・5日に文化祭が開催されました。7

月中旬からの三者面談を経て、いよいよ3年生は進路の選択という人生の重要な時期を迎えます。

さて、生徒が安全・安心な学校生活を送れるよう校内の整備を進めたいと考え、卒業生の皆様にご協力をお願いし、「学びや基金・平沼高校指定」募金をお願いし、昨年度は体育館の照明器具の修理や窓の修理などを行いました。

心から感謝申し上げます。まだまだ整備したい箇所がありますので、今後も目標達成まで、寄付を呼びかけたいと考えています。

詳しくは母校ホームページ(校長からのお願い)をご覧ください。引き続き皆様のご理解とご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

平成26年度卒業生数
男子 91人
女子 184人
合計 275人

着任に際して

教頭 篠田 聡



この4月1日付けで横須賀明光高等学校より新任の教頭として着任しました。篠田と申します。

縁のある横浜の地に、5年ぶりに戻ってきました。今までの私にとって横浜平沼高等学校とは、遠くから憧れをもって見つめる存在でありましたが、このたび教頭という責任ある立場で赴任し、改めて自らに課せられた職責の重さを痛感しているところでもあります。

先日、体育祭において、事前に聞いていた「ファウスト」を見ることができました。生徒たちが一生懸命に踊っている姿を見て感動するとともに、歴史と伝統を肌で感じることができました。それに加え、脈々と受け継がれてきたものに対する尊敬の念だけでなく、伝統の継承に尽力されている真澄会の存在の大きさを感ずることができました。

私立大学合格者	男子	女子	合計
明治大学 (上位30校)	62人		
合計	26人	199人	225人

国立大学合格者	男子	女子	合計
横須賀国立大学	5人		
東京学芸大学	3人		
首都大学東京	3人		
神奈川保健福祉	3人		
千葉大学	2人		
東京外国語大学	2人		
横浜国立大学	2人		
秋田大学	1人		
電気通信大学	1人		
東京芸術大学	1人		
東京工業大学	1人		
東京農工大学	1人		
一橋大学	1人		
合計	26人	199人	225人

2014年度進路状況

	国立大学		公立大学		私立大学		短期大学		専門学校等	
	合格	進学	合格	進学	合格	進学	合格	進学	合格	進学
現役生	14	14	8	7	717	208	3	2	8	7
過年度生	4	4	0	0	108	20	0	0	3	3
合計	18	18	8	7	825	228	3	2	11	10

活躍する在校生

平成26年度下半期ダンス部

第7回日本高校ダンス部選手権決勝大会(団体)

第33回関東高等学校弓道選手権選抜大会(個人)

山田 航輔(2年)

美術部

第18回きものデザインコンクール(個人)

西園 嶺奈(2年)

北村 恵理(2年)

女子ハンドボール部

関東高等学校ハンド

ボール選抜(団体) 成蹊大学 12人

日本女子大学 12人

早稲田大学 12人

国学院大学 10人

東京理科大学 9人

慶應義塾大学 8人

東京工科大学 8人

共立女子大学 7人

産業能率大学 7人

帝京大学 7人

他63校 825人

短期大学合格者 3人

専門学校等合格者 11人

夏の高校野球県大会

新生野球部初戦敗退

秦野球場

山北 3-1 横浜平沼 (延長10回)

平沼の左腕梅村投手は1回から6回まで、危なげなく無安打に抑えていた。7回4球の梅村を着実に送り1番早川が左翼前ヒットで1点をもぎ取った。8回表、山北は平沼の守備の乱れもあり、9番伊藤楓が2塁打で同点に追いついた。

延長に入り、梅村投手は山北打線の集中打を浴び、9番の伊藤楓が左翼線に2塁打を放ち2点を追加。

平沼の反撃もむなしく、無念の敗戦となった。横浜平沼は安打数9、山北の6を上回っていたが、決定打に欠けていた。

4月就任した内田雄斗新監督も苦しい初戦敗退。秋の県大会を目指し、戦力アップに期待する。

広報 若杉 晃(53期)

第14回復活体育祭

夏組連覇完全優勝

「武士の心を呼び戻せ」がテーマ

平成27年5月22日(金)体育祭が開催された。ちなみに玉入れは「大奥の復讐」、応援合戦は「四国志。借り物競争は「刀狩り」といった具合。

春夏秋冬の各組長による選手宣誓、応援団長によるエール交換で盛り上がり大きな歓声が沸いた。

最初の女子競技「大奥の復讐」は籠を背負った組長(男性)が逃げ回り、籠に入った玉が少ない組が勝ちという。「玉入れは分教室の生徒達と3年生が手を繋いで傘の中に玉を投げ入れる。

午前最後の種目は伝統の「ファウスト」記者を50年前の優雅な世界に戻してくれた。

対照的に午後一番の応援合戦は見事なダンスパフォーマンス、フィリドといったに広がり、各組とも甲乙をつけ難い見事な演でビデオカメラを回す父兄で審査員席から全体を見るのが困難なほどであった。

順位は夏組が完全優勝、2位は秋組、3位は春組、4位が冬組

全力を出し切った生徒達の満足した笑顔・涙などかつての平沼の伝統・息吹を感じた楽しい一日であった。

広報 皆藤 慎一(62期)

第39回平沼祭

正門を入ると「シンデレラ階段」があることか

ら映画「シンデレラ」をモチーフにテーマは「The true magic inside you」、日本語に訳すと「本当の魔法はあなたの心の中に」としたそうである。

平沼祭は平成27年7月4日(土)5日(日)の両日に開催された。あいにくの雨模様にもかかわらず多くの来客で賑わっていた。

小ホールでは3年生各組、応援団、ダンス部、演劇部、オーケストラ部などの公演が行われていた。

シンデレラ階段を上がるとうどんのコーナーがあり食指をそそられるが、列に並びず左折して校舎の中へ、校舎の中では飲食、アトラクション、展示、販売などなど生徒自ら楽しんでる様子が伺われた。

シンデレラ階段を上

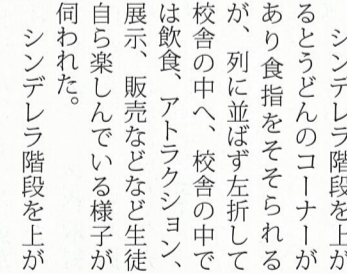
本当にあつという間の4日間。名残惜しさを残しつつ、日焼けした肌と共に帰国しました。最高の海、最高の天気、最高の仲間と過ごしたグアムでの4日間は一生忘れられないものとなったことでしょう。

迎えた最終日。ショッピングセンター「マイクロナシアモール」へ向かいます。ここでは最後のお土産を購入している生徒が多く見られました。



転出者

数学 本田 均 岸根



事務 山口 三恵子 非常勤

英語 長谷川 有希子 都立美原

数学 香澤 佳祐 日大 文理

国語 高橋 祐介 進学予備校

数学 遠藤 守 霧が丘

社会 山本 孝幸 横浜修徳館

理科 加藤 哲彦 深沢

職員の変動

着任者

篠田 聡

横須賀明光

内田 雄斗 新栄

馬場 真史

保徳福祉大学

三浦 みどり 新採用

佐藤 弘

神奈川総合

霧が丘

高橋 祐介

進学予備校

長谷川 有希子

都立美原

香澤 佳祐

日大 文理

山口 三恵子

非常勤

水野 昌亨

大師

前田 一穂

横浜明朋

西村 太朗

磯子工業

本田 均

岸根

黒田 啓輔

海洋科学

若菜 章宏

鶴見総合

野村 哲

大和南

松橋 太郎

千葉県立舟橋

小林 泰文

行政

石井 雄祐

非常勤

支部だより

仙台支部

齊藤 彰世(66期)

平成27年6月14日(日)第64回仙台真澄会が仙台駅近くの和風レストラン「寿司波奈」で開催されました。

出席者は相澤英子さん(43期)、早坂祥子さん(48期)、茂庭房子さん(53期)、松岡千代子さん(57期)、稲村真理子さん(62期)と齊藤彰世(66期)の6名。

第一高女や平沼高校時代の名物先生の話や、宮城に引越して来た際言葉の違いにとまどったなどいろいろな話題がでしたが、やはり最後は健康をいかに保つかが一番の関心事です。定期的な運動や食事に気をつけ元気でまた会える事を願いました。



埼玉支部

加藤(高橋真理)(67期)

平成26年5月18日(日)25名の参加で、「小江戸川越めぐり」を実施しま

した。

喜多院では、ボランティアアガイドさんの解説を聴きながらの見学。徳川三代将軍家光誕生の間、春日局の間などは、新しい知識を得て、五百羅漢と対面し、我が身を重ね合わせて日頃の不摂生を反省、「川越城本丸住居絵図」を見て、古の壮大な川越城に思いを馳せました。



蔵造りの町並みの一角にある「吉寅」では、先輩のパワー溢れるお話に圧倒され、後輩が元気を頂きました。また、初めて参加頂いた方々の貴重な体験を伺うことができ、2時間の総会があつという間に過ぎてしまいました。

埼玉支部会では毎年、楽しい会にするための企画に頭を悩ませております。会員の皆様のアイデアを是非お寄せください。

千葉支部

柴田 勝(60期)

平成27年5月9日千葉支部の総会を開催した。今回は松戸市の「戸定が丘歴史博物館」にある

国指定重要文化財「戸定邸」と「戸定歴史博物館」を見学の後、近くの中華料理店「竹琳ツリー」にて総会と懇親会を開催するというスケジュール。



総勢14名の参加で遠く県外からの参加もあったが、残念ながら第一高女時代の先輩の参加はなかった。

支部長から会計報告と真澄会費の納入のお願いがあり、県外の行田市から参加の磯貝さんに、千葉支部行田出張所長という辞令を交付。議事はすべて全員了承で総会を終了し懇親会となった。自己紹介から始まり、今回初めて参加された方もすぐに打ち解けて歓談は弾み懐かしい先生方の話や、昔の高校生活の思い出、現在の生活や趣味の話などで盛り上がり、思いもよらぬ繋がりやにびっくりしたりして大いに楽しい時間を過ごしました。来年も5月に開催予定です。是非ご参加ください。(報告:鈴木美佐男50期)

西湘支部

與本(根本淳子)(77期)

平成26年11月10日に恒例の支部会が行われました。今年も総勢15人でした。まず大雄山駅に集合し、大雄山の10年目となる、さる菊祭りへ。さる菊とは、小ぶりの花がさるをふせたようにびっしりと咲いている菊で、菊の

香りと湧き水の響きに癒されました。

そこからモダン湯治スタイルの温泉旅館おんりーゆーに移動して、地元食材に拘った季節感のあるヘルシーなランチをいただきました。この旅館は桜井文子さん(64期)のご主人が経営されており、とても人気のあるスポットです。「ずっと元氣!プロジェクト」に黒岩県知事が視察に見えられたとのこと。

食事の後個室に移り、小野剛さん(51期)のマジックを楽しみました。小野さんはボランティアで小学校などを回ったりされ、ほのぼのとしたマジックでした。私は5年ぶりの参加でしたが、素敵な方ばかりで平沼高校でよかったと改めて思いました。いつも企画準備してくださる安藤和夫・澄子さんご夫妻(68期)に感謝します。



平塚支部

海藤 てる子(63期)

涼風の中、今年も真澄会平塚支部会を6月14日(日)梅雨の晴れ間に開催されました。場所は昨年と同じ大磯駅前(大磯迎賓館)という大正時代に建築された瀟洒な洋館なのでございます。久しぶりに会う楽しみ。諸先輩方からのお励みの

あるお言葉。どれもこれも新鮮。今回は三田会長様はご欠席の中、始まりました。お互いの健康や学生生活の思い出について語り合い、あつという間に閉会の時間となつてしまいました。常々出席して思いますが、会話の中に人生の知恵や、ちよつとした生活のヒント等、とても気づかされる事ばかり。何か他では出会う事のない宝箱のようでございます。

さて、9月8日(火)に奥湯河原温泉(山翠楼)へ泊旅行を予定しております。参加ご希望の方はぜひご連絡ください。



石川支部

深野 由美子(77期)

5月31日(日)に恒例の真澄会石川支部会を金沢ニューグランドホテルで行いました。今年もアンサンブル金沢の今野さんは忙しく、今井さんは手術のため出られませんでした。3人でまたまた話が盛り上がり、お互いの子供の話や孫の話、海外旅行の話となりました。美味しい食事をとりながらお聞きした人生の話は大変勉強になりました。東京から金沢まで新幹線ができたため、テレビでは金沢の映像がよく映っていて、横浜から来た皆さんの人が観光に来ているようです。まだ新幹線(かがやき)に乗ったことはありませんが、

林さんはグランクラスに乗ってとてもよかったそうです。

勤務している学校に入ろうとしたら新幹線が見えたので車を止めて見ていたら生徒に笑われました。来年もまたみんなで集まりたいです。



関西支部

濱口 敏夫(60期)

第33回関西真澄会を平成26年11月16日に梅田阪神百貨店10階の「筍粹」で昼12時より開催しました。参加者は51期小宮起、長岡三郎、天春富美枝(仁木)、高燕蘭(麦)、末廣春枝(武藤)、53期飯田二郎、54期宮崎和利、56期竹村栄子(小網)、60期近藤優美子(中村)、後藤翔子(有吉)、平井興二郎、濱口敏夫、63期中野知子、野田の13名でした。残念ながら旧第一高女の方の出席は有りませんでした。今年もまたまた話が盛り上がり、お互いの子供の話や孫の話、海外旅行の話となりました。美味しい食事をとりながらお聞きした人生の話は大変勉強になりました。東京から金沢まで新幹線ができたため、テレビでは金沢の映像がよく映っていて、横浜から来た皆さんの人が観光に来ているようです。まだ新幹線(かがやき)に乗ったことはありませんが、

会はずいぶん司会、小宮会長の挨拶から始まり、各自の近況思い出話や、竹村さんの趣味の作品、可愛い針山を皆で分け合ったりと、楽しいひと時を過ごさうと、長岡氏の閉会のお言葉で散会しました。

今年も11月15日(日)に例会の予定です。

新潟支部

小出 和子(65期)

6月27日11時より新潟駅前のクオリスビルにおいて第14回支部総会を行いました。今年の出席者は、事務局担当の市川務さん(50期)、毎回出席して下さる池田三穂さん(62期)と私の3名だけでしたが、元気に再会できたことを喜び合いました。そして、それぞれの近況報告とともに、市川さんがロータリークラブの会長として活躍された話や、報道記者として政治家と一緒に国内外を飛び回っていた頃のエピソードや秘話などをお聞きしているうちに、あつという間に楽しい時間が過ぎてしまいました。

若い人達が参加し易くなる様に工夫すべき、との意見が出されました。

平成26年11月7日(日)から12名集まる。40代から80代まで。女性は2人ほど。10年ぶりの人初めての人、現職の人をつかまえて時勢に疎い老人がうるさく尋ねる。話題は「何しているの?」人の意欲を糧にしたいと思惑があつて、今も「学び取る」意識が働く。「資格取得に」精を出す人、絵筆を握る人、手芸に巧みな人、売り上げに頭を悩ます人、何をなすべきか迷いながらも地域の集まりに顔を出す人、そして老妻の介護に明け暮れる二人も。「通信制」の面白さ溢れる一時であった。

いすみ支部

浅野 敏治(通5期)

また最後に、ここ数年出席者が固定され、和気あいあいの楽しい会にはなっているが、支部の存続と発展を考え、もつと

◆ 宅配で健康習慣ははじめよう ◆

meiji 明治牛乳特約店 四谷軒 (販)

長谷川商事株式会社

横浜市西区中央1-32-2
TEL 045(322)1922
FAX 045(322)1923 長谷川 正(56期)



JASDAQ Listed Company 2406 株式会社 アルテ サロン ホールディングス 取締役会長 吉原 直樹 (71期)

HAIR Ash MAKE

アッシュブランドは、横浜・銀座・渋谷・吉祥寺をはじめ、東京・神奈川・千葉・埼玉に全115店舗ございます。

〒231-0031 横浜市中区万代町 1-2-12 共立関内ビル 8階 / TEL.045-663-6120 / FAX.045-663-6121

ONWARD

五大陸五人男

gotairiku

馬場 彰(51期)

フクナガ動物病院

0748-33-5333

滋賀県近江八幡市中小森町 308-27
www.fukunaga-ah.com

月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	9:00~12:00	9:00~12:00	9:00~12:00	9:00~12:00	9:00~12:00	9:00~12:00	9:00~12:00
16:00~19:30	16:00~19:30	16:00~19:30	16:00~19:30	16:00~19:30	16:00~19:30	16:00~19:30	9:00~11:00 完全予約制

獣医師 福永めぐみ (103期)

縦のきずな O.B.会 同好会

柔道部

小笠原 豊(73期)

わが柔道部は今年で創立65年、そのO.B.会である平沼柔友会は創立48年目となる平沼で最も歴史のある運動部です。現在の部員は3年生1名、1年生3名と少ないですが顧問の太田先生のもと毎日の練習に励んでいます。隔月で現役とO.B.の練習会を行っており、ここではひたむきに稽古する1年生の姿勢を昔の自分におきかえ懐かしと思うと同時に、一本の乱取りで息も絶え絶えの現実の自分がいるのですが、練習後に飲むビールはまた格別です。さて、本年の柔友会総会は4名の卒業生を迎え総勢37名で6月13日に中華街で開催されました。また、柔友会から平沼高校柔道場へ鏡を進呈させていただきました。



山岳部

山崎美喜夫(61期)

共学の初期のころの卒業生達が週末に厳冬のアルプスをはじめ山々を廻った日々から60余年、いまでも熱心な会員の企

来たことです。お子さんたちの成長と共に喜び合いながら、私たちの絆が世代を越えて長く続いていくことを実感しました。



画で毎月のように里山、低山めぐりを続けており、5月にはテレビでも放映された三浦半島小網代の森を21名が探訪しました。昨年、9月合宿では百名山のひとつ蓼科山(標高2,531m)登山を行い、参加者32名中(平均年齢71才?)12名が元気に完登し、蓼科温泉で爽快な汗を流しました。また、新年会(会場・会員の経営する西口なかいち)には48名の会員が集い、何時までもアルコールのにおいと喧騒が包んでいました。この記事が載る9月初旬には、夏合宿として黒斑山(2,404m、浅間山の西方)に登り、互いの無事と健勝を祝福する予定です。

ソフトボール部

ソフトボール部 O.G.会 小林 陽子(79期)



平成27年1月10日(土)毎年恒例のOG新年会を行いました。ソフトボール親善試合は晴天に恵まれ、73期の野球部さんのOB3名の参加もあり、にこやかながらも本格的な真剣プレーとなりました。嬉しく思ったのは、OGメンバーのお子さんたちも一緒にプレーが出

体操部

村田 萌(102期)



体操部O.B.会では、毎年恒例に「おけら通信」という会報を発行しています。数名の原稿(原則自由テーマ)、返信はがきの近況報告、年間の活動及び会計報告と、実に内容が豊かな会報なので毎年の楽しみです。恒例の新年会についてもこの

真澄会室での懇親会では、歴代顧問の井上先生、栗原先生、土橋先生、玉生先生、岩井コーチ、そして30名を超えるメンバーとのお子さんで、楽しいひと時を過ごしました。次回もたくさんの方のご参加お待ちしております。なお、わずかですが当日の会費の一部を真澄会に寄付させていただきました。

ハンドボール部

近久 紀人(66期)



真澄会室での懇親会では、歴代顧問の井上先生、栗原先生、土橋先生、玉生先生、岩井コーチ、そして30名を超えるメンバーとのお子さんで、楽しいひと時を過ごしました。次回もたくさんの方のご参加お待ちしております。なお、わずかですが当日の会費の一部を真澄会に寄付させていただきました。

野球部

早福 久雄(57期)



今春、野球部顧問が変更されました。新任は内田雄斗先生。川和高校で遊撃手、大学を経て新栄高校で監督を5年間経験した29歳のバリバリです。内田監督は「O.B.会との連携を重視したい。是非グラウンドにお越し頂きたい」と言っています。これからは、学校・父母会・O.B.会の三本柱で現役を支援出来る体制になると確信しています。6月20日にO.B.会総会の後、父母会合同で現役激励会を行いました。昨年10月19日第6回県立五校野球部O.B.会対抗戦が翠嵐Gで開催され、平沼が1回戦シード、2回戦緑ヶ丘5対4、決勝戦立野11対2で勝利、2連覇を果たしました。今年も

放送劇部

定仙 勝弘(59期)

放送劇部のO.B.・OGで毎年新年会を開催しています。昭和32年卒(54期)から37年卒(59期)までのメンバーで、当初はピクニックやハイキング、小旅行などを楽しんでいました。今は年に一回の新年会だけになりました。それでも一堂に会すると全員が半世紀前の青春時代に戻り、新たなエネルギーを蓄積することが出来ます。全員が古希を過ぎ、最年長はそろそろ喜寿ですがまだまだ元気です。会の最後に「高校三年生」を合唱して来年の再会を約束しました。

HBS放送部

伊藤美栄子(57期)

放送部は昭和33年に平沼放送局HBSとして開局され、主に昼休みの校内放送を中心に活動が始まりました。放送はシューベルトの「鱒」のメロディーに乗ってスタートします。狭い部室の中で番組の編集に知恵を絞り放課後は飛んで部室へと直行しました。O.B.会は55期から66期位のメンバーで、まるで部室に集まるような感じで昨年11月22日(土)レストラン「味蕾亭」に集合、良い事も悪い事も披露し元気を貰って帰りました。たまには放送部らしくその日の様子を撮影し、DVDに編集して送られてくる事もあります。オープニングには勿論懐かしいシューベル

吹奏楽部

鎌田健二郎(76期)



昭和58年、吹奏楽部の卒業生によって結成された当部も、今年で32年目を迎えることができました。現在は、誰でも参加できる一般市民吹奏楽団体と形を変え、毎週土曜日の夜に集まり練習をしています。去る7月19日には鎌倉芸術館小ホールにおいて、満員のお客様にお越しいただき、第28回吹奏楽演奏会「ぬらひま28」を開催しました。シエークスピアの戯曲をもとにした「十二夜」や「大脱走」、「フランク・シナトラ・ヒットメドレー」などの映画音楽やポピュラーの名曲を演奏しました。来年夏には「ぬらひま29」を開催いたします。詳細は真澄会ホームページなどでも告知いたしますので、お越しただければ幸いです。

バレーボール部

堀口 明(71期)



現役生の活動状況 女子バレー部 総勢20名で月・水・金と土日で活動中。 【平成27年度試合結果】 ○横浜市民大会 3回戦 敗退 ○関東大会地区予選会 1次、2次予選突破も 決定戦敗退

俳優 工藤 堅太郎 (56期)

著書「役者ひとすじ」
我が人生&交遊録

平沼高校在学中の面白話も書いてます

略歴
S34年3月 横浜平沼高校卒業演劇部出身
同年4月 俳優座附属俳優養成所11期合格
S37年3月 卒業
S37年8月 大映東京撮影所と契約
以後、現在まで53年間、職業俳優として 映画・テレビ・舞台上活躍

好評につき、第二弾、鋭意執筆中！
来年28年には「続・役者ひとすじ」 ◆(無法松の一生) 37年振りの再演のすべて◆ とのタイトルで続編が出版されます。乞うご期待！

電設をデザインする。
安全で良質な工事を心掛け、提供いたします。

SDKK 新興電設工業株式会社

代表取締役 池松忠彦(62期)

本社 横浜市西区戸部町3丁目71番地(〒220-0042)
電話045(241)7711 FAX 045(241)7717
営業所 横浜駅前 厚木 栃木

志賀社会保険労務士・行政書士事務所

志賀一史(71期)

お気軽にご相談ください！

〒220-0023 横浜市西区平沼2-4-7
TEL:045-321-0584
FAX:045-534-4124
E-mail:shiga.kazufumi@gmail.com

労働保険 建設業許可
社会保険 会社設立
就業規則 遺言・相続
残業・解雇 成年後見

展示室設置の経緯と現況

《展示室の予算》

平成15年設置以来、歴史資料展示室には、第二室の増設や今年度ではエアコンの室内機改修など一、〇〇〇万円近くの資金が真澄会会計から投入されている。

この金額は毎年三五〇万円を超える予算を費やしている会報発行事業に次ぐ大規模事業である。

このような資金で支えられている歴史資料展示室とは一体何か、展示室は何を目的として、どのような経緯から設置され、効果設置目的は上がっているのか、…気になるところであろう。

《展示室設置の経緯》

真澄会では、早くから会員へ歴史的資料の提供を呼びかけ収集・整理を行い、その成果を九〇周年誌の編集や例年の平沼祭での歴史的資料の展示に役立ててきた。

一方、故河内元校長が資料室設置を目的として資料収集を始めて以

歴史資料展示室 特集

来、展示室は母校でも一つの関心事となっていた。さらに、総合学習制度の導入を機に特色づくりの一環として「校史教育」が掲げられ、展示室設置を望む声も出てきた。



展示室を視察する黒岩知事



企画展の賑わい 平成27年7月

《展示室は学校のもの》

展示室は、以下に記すように学校が設置した教育施設で、その管理運営の責任は学校にある。

昨年4月施行された「展示室設置・運営要綱」の第二条は、展示室の設置・目的を次のように規定している。

「学校の歴史を学校、地域に伝えること及び学校の特色づくりの一環である『校史教育』に資すること」を目的として展示室を設置する、第四条は、「展示室の管理、運営は学校が行い、真澄会がそれに協力する。」

《展示室利用の現状》

平成15年7月

オープン以来、年間二千人以上が来室し、平成25年度には累計入場者は二万人を超えた。

利用者は、平沼祭での一般入場者、中学生の進路指導のための学校説明会や施設見学会での中学生及びその保護者、校史教育でのホームクラス在校生、同窓会・部活OBG会などの同窓生、学校視察などの教育関係者など、多岐にわたっており、平成19年5月には松

沢知事、平成26年3月には黒岩知事のご来場をみている。

《展示室は学校のもの》

展示室は、以下に記すように学校が設置した教育施設で、その管理運営の責任は学校にある。

昨年4月施行された「展示室設置・運営要綱」の第二条は、展示室の設置・目的を次のように規定している。

「学校の歴史を学校、地域に伝えること及び学校の特色づくりの一環である『校史教育』に資すること」を目的として展示室を設置する、第四条は、「展示室の管理、運営は学校が行い、真澄会がそれに協力する。」

《真澄会が費用を負担する理由》

学校のものに何故真澄会が資金を提供し、運営に係る諸々の業務を負担しているのか、それには相応の理由が無ければならない。

《学校と真澄会との連携》

同窓会の負担で設置運営されている現状は、以上の事情に加えて、展示室設置の経緯にも起因していると思われる。

一般的に、展示室は学校側の必要性よりは、同窓会側の主導で設置されてきた側面があり、運営上での両者の温度差を産む原因となっている。

幸いに母校の展示室は、学校・同窓会双方の要請により発足した。また、学校教育の上で、「校史教育」という明確な位置付けがなされていることから、展示室に対する学校側の姿勢には積極性があり、他校に先駆けて「歴史資料展示室運営委員会」が展示室発足と同時に置かれ、現在も定期的に開催され、展示室運営のため、学校と真澄会との協議の場となっている。

《展示室の運営費・業務》

以上、展示室を支える同窓会の立場と学校との関係を、制度面・規定面から見たものであるが、展示室が学校の教育施設である以上、展示室の予算は学校負担、業務も学校職員が当たるのが筋である。しかし、現状は予算も業務もその大部分は同窓会(真澄会)の負担により行われている現実がある。

《展示室の将来展望》

県立高校の展示室は設置当初は、その機能の有効性や学校での施設の位置付けなどを、疑問視する向きもあつたが、知事の来場、好意的な新聞記事、入場者の着実な伸びなどから、学校の教育施設としての位置付けも明確になった。

本県より歴史の古い高校を抱えている他県のこの種の展示施設では、運営主体が公益法人となっているところも見られる。展示室は学校教育のための公共性の高い施設であり母校展示室運営への、同窓会(真澄会)の協力もまた、多分に公共的な性格を帯びている。

今後展示室がどのように発展、運営されていくかの展望は、まだまだ不確定であるが、大きな可能性を持つ事業である。

歴史資料委員会 永森 邦雄(50期)

《展示室の将来展望》

展示室の展示品から野球場選抜神奈川大会で準優勝の記事 (昭和二十七年春)

《展示室の将来展望》

昭和20年5月29日、横浜は朝から米軍B29爆撃機50機による空襲を受け、多くの市民が犠牲となり、市街地のほとんどが焼け野原となった。

この日の空襲による横浜市の被害は甚大で、爆撃の主要目標の一つが平沼橋であったため、本校付近も大変な惨状を呈した。

その当時の本校内の悲惨な様子を創立百周年記念誌(学校編)から引用してみる。

《展示室の将来展望》

幸い本校本館は無事であったため、その日の午後から空襲による罹災者や負傷者の収容所・救護病院となった。その様子がある軍医はこう語っている。

写真中段やや左に、当時円筒形であったガスタ

放送劇部 全国高校放送コンテスト第一位 (昭和三十四年)

引き継いだのが午後10時近くであったと思つ、最終病院に指定されていただけに、多数の傷者が収容されていたのだが、満足な照明のない暗闇の教室内では、その実数もつかみがたなく、初めは机の上に焼けこげた衣装のままに横たわっている重症患者の回診に追われた。(中略)

昭和20年8月15日終戦。昨日までの「是」が、明日からは「非」となる急変で、多感な生徒の戸惑いは大きかった。進駐軍を恐れて婦女子の戦後疎開が行われた。10月1日授業が再開されたが、GHQの指令で修身などは停止、教科書も回収されたり、墨を塗って使用されたりした。このような教育環境の混乱の中で、生徒の自主・自治活動が導入され、部活動が再開し、しだいに学校・生徒は明るさを取り戻していった。

度重なる修業年限の変更を経た高等女学校制度も、新制中学、新制高校へと変わり、現行の学校制度が発足した。

そこで、今年(平成27年)に当たり、終戦を挟んだ戦中・戦後の激動の時期、教育理念や価値観の激変、学校制度の変革など、様々な変動をくぐり抜けた学校と生徒の様子を、当時の生徒の体験を中心に展示することとした。

《展示室の将来展望》

「戦後七〇年 戦中・戦後の学校と生徒」大陸の戦線は拡大し、昭和16年12月8日ついに太平洋戦争突入。学校も戦時色が濃厚になり、農家への勤労奉仕や工場への勤労動員が実施された。必修科目であった英語が19年には廃止され、テニスコートも菜園となった。

《展示室の将来展望》

昭和20年5月29日、横浜大空襲。多くの市民が犠牲となり、消失を免れた校舎は負傷者の収容所となった。

昭和20年8月15日終戦。昨日までの「是」が、明日からは「非」となる急変で、多感な生徒の戸惑いは大きかった。進駐軍を恐れて婦女子の戦後疎開が行われた。10月1日授業が再開されたが、GHQの指令で修身などは停止、教科書も回収されたり、墨を塗って使用されたりした。このような教育環境の混乱の中で、生徒の自主・自治活動が導入され、部活動が再開し、しだいに学校・生徒は明るさを取り戻していった。

度重なる修業年限の変更を経た高等女学校制度も、新制中学、新制高校へと変わり、現行の学校制度が発足した。

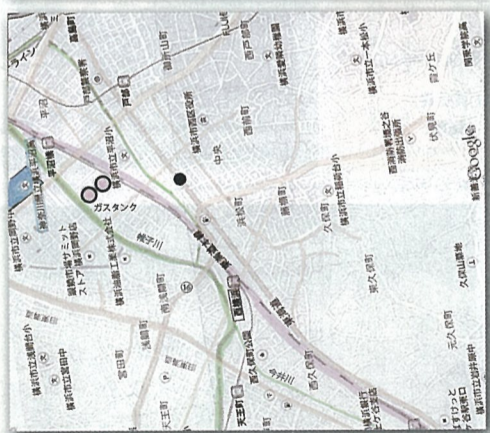
そこで、今年(平成27年)に当たり、終戦を挟んだ戦中・戦後の激動の時期、教育理念や価値観の激変、学校制度の変革など、様々な変動をくぐり抜けた学校と生徒の様子を、当時の生徒の体験を中心に展示することとした。

副会長 館 憲紀(58期)

副会長 館 憲紀(58期)

写真で見る横浜大空襲

—常設の展示品から—



この日の空襲による横浜市の被害は甚大で、爆撃の主要目標の一つが平沼橋であったため、本校付近も大変な惨状を呈した。

その当時の本校内の悲惨な様子を創立百周年記念誌(学校編)から引用してみる。

幸い本校本館は無事であったため、その日の午後から空襲による罹災者や負傷者の収容所・救護病院となった。その様子がある軍医はこう語っている。

《展示室の将来展望》

写真中段やや左に、当時円筒形であったガスタ

《展示室の将来展望》

引き継いだのが午後10時近くであったと思つ、最終病院に指定されていただけに、多数の傷者が収容されていたのだが、満足な照明のない暗闇の教室内では、その実数もつかみがたなく、初めは机の上に焼けこげた衣装のままに横たわっている重症患者の回診に追われた。(中略)

度重なる修業年限の変更を経た高等女学校制度も、新制中学、新制高校へと変わり、現行の学校制度が発足した。

そこで、今年(平成27年)に当たり、終戦を挟んだ戦中・戦後の激動の時期、教育理念や価値観の激変、学校制度の変革など、様々な変動をくぐり抜けた学校と生徒の様子を、当時の生徒の体験を中心に展示することとした。

副会長 館 憲紀(58期)

副会長 館 憲紀(58期)

企画展

「戦後七〇年 戦中・戦後の学校と生徒」

大陸の戦線は拡大し、昭和16年12月8日ついに太平洋戦争突入。学校も戦時色が濃厚になり、農家への勤労奉仕や工場への勤労動員が実施された。必修科目であった英語が19年には廃止され、テニスコートも菜園となった。

昭和20年5月29日、横浜大空襲。多くの市民が犠牲となり、消失を免れた校舎は負傷者の収容所となった。

昭和20年8月15日終戦。昨日までの「是」が、明日からは「非」となる急変で、多感な生徒の戸惑いは大きかった。進駐軍を恐れて婦女子の戦後疎開が行われた。10月1日授業が再開されたが、GHQの指令で修身などは停止、教科書も回収されたり、墨を塗って使用されたりした。このような教育環境の混乱の中で、生徒の自主・自治活動が導入され、部活動が再開し、しだいに学校・生徒は明るさを取り戻していった。

《展示室の将来展望》

引き継いだのが午後10時近くであったと思つ、最終病院に指定されていただけに、多数の傷者が収容されていたのだが、満足な照明のない暗闇の教室内では、その実数もつかみがたなく、初めは机の上に焼けこげた衣装のままに横たわっている重症患者の回診に追われた。(中略)

《展示室の将来展望》

引き継いだのが午後10時近くであったと思つ、最終病院に指定されていただけに、多数の傷者が収容されていたのだが、満足な照明のない暗闇の教室内では、その実数もつかみがたなく、初めは机の上に焼けこげた衣装のままに横たわっている重症患者の回診に追われた。(中略)

度重なる修業年限の変更を経た高等女学校制度も、新制中学、新制高校へと変わり、現行の学校制度が発足した。

そこで、今年(平成27年)に当たり、終戦を挟んだ戦中・戦後の激動の時期、教育理念や価値観の激変、学校制度の変革など、様々な変動をくぐり抜けた学校と生徒の様子を、当時の生徒の体験を中心に展示することとした。

副会長 館 憲紀(58期)

副会長 館 憲紀(58期)

OB・OGのみならず、いつも応援ありがとうございます。



ハンドボール部は、2年ぶり3回目の全国選抜大会出場、4年連続での関東大会に出場いたしました。現役生の活躍はOB/OG会のWEBサイトに掲載しております。OB/OG会の年会費にて現役生支援を行っております。ご支援どうぞよろしくお願いたします。

平沼高校ハンドボール部OB/OG会 <http://hiranuma-handball.org> 平沼ハンドボール 検索

細水 写真館

細水 亨 (63期)

〒220-0023 横浜西区平沼1-33-18
TEL (045) 321-4202
FAX (045) 321-4255



今回ご登場いただいたのは音楽研究者、藝大特任教授、各員教授を歴任され、昨年定年退官された瀧井敬子さん(62期)です。瀧井さんは明治の文豪たちの西洋音楽受容に関する研究のスペシャリスト。母校校歌の作曲家幸田延さんの研究者としても知られています。聞き手は松永弘子(57期)と遠藤玲子(71期)の二人。

輝く同窓生

同級生によると理数系にとっても秀でていたとのことですが、藝大に進んだ動機は

音楽の佐藤一夫先生との出会いがあり、強く藝大進学を勧められ、家族の理解もあつた。手塚幸紀さん(55期)以来、藝大への入学者がいなかったの、一人入学すれば後に続く者が出てくるという先生の思いがあつたようだ。受験に関して様々なバックアップをしていただいた。受験一色に行うようになった。

引つ張られていったが、今もこうして仕事が続けられ、佐藤先生の見抜く力に敬服している。

「一浪で藝大楽理科へ進学されました。音楽研究者として歩まれた道は」

若い頃はヨーロッパの音楽作品や理論に関する研究ばかりだった。しかし、藝大に新しい音楽堂が落成したのを機に、明治の文豪たちの視点から日本の音楽史を見直すことを始めた。本の執筆や論文等の発表だけでなく、レクチャー・コンサートやオペラ公演を積極的に行うようになった。

お話を伺わせて戴いて

発せられる言葉一つ一つに重みを感じ、平沼の生徒たちにも伝えたいと思っていました。

日本近代音楽史研究の中で、幸田露伴の妹、延に出会い、延の作曲した平沼の校歌の価値、延の偉大さを伝えるため、2001年に母校の「先輩セミナー」で講演した。延はアメリカを経てウィーンに留学、欧米の一流文化に触れた。

帰国後東京音楽学校(現藝大)教授として瀧廉太郎(山田耕筰を育てるなど当時日本において最高峰の音楽家だった)後に教授職を担われ、不遇とみられることもあったが、皇后陛下をはじめ皇族方のピアノのレッスンをする個人教授となり、今日のピアノのお稽古文化の元をつくつて

いる。母校校歌はユニークで、その旋律は今でも新鮮。大切にしなければいけないと思う。

「今力を入れていることは」

一つは夏目漱石の洋楽受容に関する音楽学研究とレクチャー・コンサート。もう一つは芸術の力を借りて、障害者と高齢者に生きる幸せと勇気をあなため、特に介護者には心のケアに役立つ企画を立て、実行すること。そのために、「クラチャ・アートプロジェクト」(芸術×福祉)「クラチャ」は瀧井さんの洗練されたチームを結成。2015年3月、社会福祉法人「旭川荘」(岡山県)の創立60周年記念「バリアフリーオペラ『アマリ』

若い同窓生の作品展・問い合わせ横浜平沼高校橋本先生へ
TEL 045(313)9200

「アーティストの展覧会」
Charity Exhibition "TAMAGOTACHI" presented by Young Artists in Japan for Kyoto University IPS Cell Research Fund

2015年9月18日(金)～9月24日(木)
11:00-18:00 会場中絶、実施日は17:00まで
トークセッション「IPS細胞について」
9月19日(土) 第一回 14:00-15:00
第二回 16:00-17:00
京都大学IPS細胞研究センター 京大 京大

第11回バリアフリーコンサート 夢・響き愛
主催 NPO法人 町田楽友協会
2015年11月1日(日) 町田市民ホール
17:30～
曲目 プラームス 大学祝典序曲
交響曲第3番
クラシックファンタジー 他
問い合わせ ☎042-748-5077
<町田楽友協会>
平成27年度町田市芸術功労賞受賞
土井(山口)美智代さん(56期)
ヴァイオリン・ピオラ奏者 町田楽友協会で活躍

先輩セミナー 2014

(花橋第65号からの抜粋)



写真提供 石谷教諭

11月13日(木)、先輩セミナーが1年生を対象に行われました。例年は複数の講師により少人数単位で行われていたが、今回は元TBSアナウンサーの吉川美代子さん(70期)が「声と言葉の力」と題して講演、全員が体育館で受講しました。吉川さんは昭和48年に本校卒業、早稲田大学に進学。その後、TBSアナウンサーとして活躍、平成26年5月に定年退職しました。講演の要旨は以下の通りです。

声は世界でたった一つ

普段何気なく声を出している。簡単に声が出せると思っている。ところが、実は声というのは世界でたった一つ、自分だけのものがある。その人の体格・骨格、

筋肉の厚み・付き方、声は体の中で、ヴァイオリンやギターのように響かせるので、体全体が共鳴する場所、共鳴腔の大きさ、口の形、全てが合わさってその人の声になる。それらが似ていると、声も似る。だが、似ていても全く同じわけはない。つまり、声はその人自身の人格とも言える。

「ゼロの声」

言葉は声によって相手に伝わる。言葉がどんなに素晴らしくても、声を大事にしないと意味がない。では、どうやって相手の心に響くのか。誰しも声に色々な幅を持っている。

心からの言葉

声で言葉を話す。言葉というものは単なる音ではない。私が「ひらぬま」と言ったときには、自分の母校、奈良県立横浜平沼高等学校をさしており土地の名

前ではない。しかも、たった4つの1秒くらいで言ってしまう言葉の中に自分が通った3年間、友達、先生、自分の顔、当時の校庭の様子、すべてが凝縮されている。コミュニケーションは言葉と言葉のキャッチボールであり、一番大事なのは心からの気持ちを込めた言葉である。

自分の声と表情

話すときは相手の目を見るのが基本である。人間は言葉だけでなく、声のトーン、強弱、大きさ、響き、顔や目の表情、仕草、その全部から、その人が何を言いたいのか察することができている。それは誰もが持っている能力である。顔と顔を合わせ相手の肉声を聞き、自分の肉声や表情を相手に伝えること、この気持ちだけは伝えない、これだけは言いたいというところは、相手に目を見て自分の声をしっかりと相手の耳に届けることが大切である。

相手の立場になって

人はそれぞれ育ってきた環境や見てきたこと、学んだこと、知っていること、食ってきた物、呼んでいた本もすべて違う。

無表情な声

最近多くの人がスマホや携帯を持っている。本などにスマホや携帯のメールだけのやり取りに慣れてしまっていると、段々と自分が無表情になり、友達が嬉しそうに話すと、こちらも自然に笑顔になり、相手の目に涙を浮かべて話しかけると、こちらこそそれに共感するから意識

大切な教養

英語の話し方を聞くと、きちんと教育を受けてきたかが分かる。日本人は片言の英語でも一生懸命に相手の立場になって伝えようとする。そこに日本の教育の凄さを感じるといえる。平沼高校でしっかりと教養を身につけていけば、片言だろうが発音が少し変だろうが堂々と話せるはずなのだ。それが大事である。どんなに早く英語が話せても中身が無かったら、ただの音である。つまり

今後の実践

ゼロの声にいろいろな事がプラスしていくと、何十通りの表現が変わっていく。声の微妙な高低、強弱、長短で分かるものが平板化していくと顔が無表情になるのと同じように会話全体が無表情になる。おおげさにアクセントや強弱をつける。言葉は強弱をつけておかないと、それが失われてしまう。もつていられる若さをその身体全体で言葉を通して欲しい。それを実践していったら、もう少し日本全体が明るく元気になっていくような気がする。子供が小さい頃から嬉しそうに顔で笑う、大声で笑う、これが一番いい世の中である。

平成27年度講演日
平成27年11月5日(木)
枝元なほみ(70期)
料理研究家

第9回青春かながわ校歌祭

平成26年10月12日(日)横須賀芸術劇場

合唱団100名(うち現役生3名)
曲目 校歌、花の街(団伊玖磨さんへのオマージュ)
指揮 吉田孝古磨さん(50期) 野村慎一郎さん(75期)
ピアノ 深井 利枝さん(85期) 村上 静香さん(92期)

今回も際立つ美しい歌声が会場を魅了しました。

第10回青春かながわ校歌祭

平成27年10月17日(土)秦野市文化会館 (TEL0463-81-1211)



写真 村田 久芳(62期)
第66回鎌倉市展(平成26年度)写真部門 優秀賞
「光と影」ザルツブルグ 2014.3.24

会員作品紹介

写真・絵画・書・アート作品など募集しています。

絵画 今井 陽子(77期) 本名 乾 陽子
第33回明日をひらく絵画 上野の森美術館大賞展
優秀賞 産経新聞社賞「きせつめくろくさかさき」
ミクストメディアAS100

編集後記

真澄会報は今年57号を迎え新しい紙面に生まれ変わった。

従来の紙面6頁を8頁に、全頁カラー仕様となった。そして同会報・OB会開催案内や真澄会関係者の企業広告用スペースを新設し、各頁内容を更に充実させる紙面リノベーションを行った。2面増頁となったことで各頁にも、余裕のあるスペースに思い通りの原稿を詰め込むつもりで作業を進めた。が、広告挿入を考慮し写真と文章がバランス良く並び紙面割付けは理想通りには進まない。試行錯誤の繰り返しと時間の経過でこの苦悶も消えて新装会報57号の編集が終わり、終わりは始まりでもあり、始まりは終わりでもある。次号に「さつご期待！」

広告募集に走り回って頂いた事務局の皆様へ感謝！

広報委員長
石渡祥男(57期)

こんにちは!“真澄会事務局”です。

事務局員は、毎週火曜日(に在室して事務を行っています。ホームページの更新は隔週です。(スタッフ須藤伸司(61期)・小林陽子)連絡事項、問い合わせ等10時～15時の間にお電話ください。)

Tel/Fax : 045-311-3356 (Faxも火曜日からの受信となります。)

E-Mail : jimukyoku@masumikai.org

総務スタッフ：遠藤玲子、中村晴美(71期)
スタッフ募集中です！事務・広報紙取材・歴史資料整理(交通費は支給します)

小林(79期) 遠藤(71期) 岸村(71期) 高橋(75期)